

ポイント運用アプリ「StockPoint」新たに投資信託 2 銘柄追加

4月16日から合計 172 銘柄の取り扱いへ拡大

個別株式ポイント運用サービスを提供する STOCK POINT 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役土屋清美、以下「当社」)は、2019年4月16日(火)10時より、当社が運営する「StockPoint」アプリ内でポイント運用できる投資信託銘柄をさらに 2 銘柄追加し、合計 172 銘柄の取り扱いへ拡大いたします。当社は今後も、株式連動型のポイント運用を通じた生活者と企業の新しい関係づくりを目指し、ユーザビリティ向上に努めてまいります。

■追加する銘柄名

追加する銘柄については、3月より投資信託直販サービス「三菱UFJ国際投信ダイレクト(愛称:mattoco)」をスタートした三菱UFJ国際投信株式会社様の投資信託 2 本となります。

・投資信託「eMAXIS JPX 日経中小型インデックス」

東京証券取引所(第一部、第二部、マザーズ、JASDAQ)を主たる市場とする銘柄のうち、いわゆる中小型株に分類される企業で、持続的な企業価値の向上、株主を意識した企業経営を行っている企業で構成される「JPX日経中小型株指数」に連動する投資成果を目指します。

・投資信託「eMAXIS 日経アジア 300 インベスタブル・インデックス」

日本経済新聞社により算出・公表される株価指数であり、アジアの上場企業 300 社を構成銘柄とする「日経アジア 300 インベスタブル指数(円換算ベース)」に連動する投資成果をめざします。

■当社が開発する株価連動型ポイント「StockPoint」について

「StockPoint」は、世界初(※1)の株価連動型ポイント運用サービスです。指定のポイントサービス(※2)から交換することで、元手資金や証券口座の開設などの手間がなく始められる、今までにない投資体験をご提供します。ご利用者は、バリエーション豊かな全 172 銘柄の中からポイント投資先を選ぶことができ、その企業の株価に連動して増減するポイントをお楽しみいただけます。StockPointアプリ内は、利用者がポイント投資先となる銘柄企業の株価情報などを入り口にして、企業そのものや提供しているサービスに興味を持つようになるなど、生活者と企業の新しいつながりを構築します。また、個別株、ETF、REIT に関しては 1 株、1 口価格相当以上の StockPoint が貯まると、現物へ交換することもできます(※3)。

※1:当社調べ 2016年11月国内特許取得済み

※2:当社が提携しているサービス(2019年4月5日現在)

・ドットマネー by Ameba(<https://d-money.jp/>)

・クレディセゾン永久不滅ポイント「ポイント運用」(<https://www.saisoncard.co.jp/point/unyou/>)

・STOCK POINT カード(ジャックス):カード利用額に応じて「StockPoint」アプリで利用できるポイントがたまるカードです。
(https://www.jaccs.co.jp/stockpoint_lp3/)

・「Ponta ポイント運用」:2019/4/9 スタート、約 9,000 万人の Ponta 会員がポイント投資可能になりました。
(<https://point.recruit.co.jp/pontaweb/partner/stockpoint/>)

※3:現物への交換にはポイント投資アプリ「StockPoint」のダウンロードおよびご本人名義の証券口座が必要です。



PRESS RELEASE

■会社情報

社名 : STOCK POINT 株式会社

所在地 : 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-7 日比谷 U-1 ビル 12F

代表取締役 : 土屋清美

設立日 : 2016 年 9 月 12 日

URL : <https://www.stockpoint.co.jp/company/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

STOCK POINT 株式会社 広報担当 佐藤 さおり

E-Mail : pr@stockpoint.co.jp